

応募申込日：令和 年 月 日

第9回 JAPANコンストラクション国際賞 応募申込書

先駆的事業活動部門

I 応募者（当事者・推薦人）概要

1. 会社名	
2. 所在地	〒
3. 連絡先	ご担当者名： 部 署： 電 話 番 号： E-mail：
4. 推薦人 ※ 推薦人応募 の場合のみ	氏 名： 所属・役職： 電 話 番 号： E-mail： 住 所： 当事者の同意の有無： 有 無 （該当する方に○を付けて下さい）

II 活動概要

1. 活動名称 （和文名及び英文名）	
2. 所在国・都市 ※ 複数国にまたがる 場合は、活動場所 を列举の上、主た る拠点が分かるよ う記載して下さい	国 都市

<p>3. 活動期間</p> <p>※ 継続中の場合は、 終了予定時期を記入して下さい</p> <p>※ 継続的に活動を実施予定の場合は、 その旨を記載して下さい</p>	<p>開 始： 年 月</p> <p>終了（予定）： 年 月</p>
---	------------------------------------

Ⅲ 活動内容

- 応募活動について、各項目に該当する事項を記載して下さい。審査基準のうち「我が国インフラ関連産業の国際競争力強化につながるパイオニア性のある事業展開ができているか」については、本項目の記載内容を中心に評価します。特に先導的に実施している内容、独創的なアイデアや技術、戦略的な努力や取組、今後の展望や継続するための工夫等については、具体的に記載して下さい。

1. 事業背景・目的（概ね300字以内）

2. 事業内容（概ね500字以内）

① 事業概要

② 事業規模（人員・資金等可能な限り定量的に記載して下さい）

③ 成果・今後の見通し

補足説明：例えば以下の観点などを参考に具体的に記載してください。

- ・ 同業他社に先駆けて取り組んだ点や、日本企業の進出が少ない地域での挑戦、独自のアイデアや日本の技術・特性を活かした工夫。
- ・ 事業を推進に対する戦略、国内で培った技術や経験の活用、長期的な展開や拠点整備など持続的な事業運営の仕組み。
- ・ 事業が今後も継続可能であるか、時代の要請や市場ニーズに合致しているか、将来的な発展の見込み。
- ・ その他、現地社会への貢献や、AI・デジタル先進技術の活用、研究開発等を通じた日本企業による質の高いインフラ実現に向けた取り組み。

IV 活動の特徴

- 応募活動について、各項目に該当する特徴を記載して下さい。また、報道記事や使用した技術・ノウハウに係る概要資料等、客観的な資料も添付して下さい。

1. 現地社会から高く評価されているか（300字以内）。

- ・ 現地コミュニティに「日本の活動」として認知されているか。
- ・ 現地社会から高く評価されているか。

補足説明：例えば以下の観点などを参考に具体的に記載してください。

- ・ 事業が現地社会からどのように評価されているか。
- ・ 現地コミュニティに「日本のプロジェクト」として認知されているか。
- ・ 政府要人の参加、現地報道、表彰など評価が示される事例。
- ・ その他、地域社会への貢献や地元からの評価。

（記載例）

現地報道や国際メディアにおいて日本の事業活動として好意的に取り上げられた、活動中の様子を現地で継続的に発信した、現地報道で事業活動による裨益が報じられた、事業活動をきっかけに実現したプロジェクトが報道等メディアで紹介される際に当該事業活動についても紹介がなされた 等

2. 日本の技術・ノウハウや強みを活用しているか（300字以内）。

- ・ 日本企業が優位性を持つ技術やノウハウ、人材育成などの強みが、活動の実施にあたって重要な要素であるか

補足説明：例えば以下の観点などを参考に具体的に記載してください。

- ・ 事業で日本企業の技術やノウハウ、人材育成などの強みをどのように活用したか。
- ・ 日本の優位性を活かした取り組みや、質の高いインフラ実現への寄与、海外での日本のイメージ向上につながる事例。
- ・ 人材育成の実施状況や、その取り組みが競争力向上の貢献度。
- ・ その他、特筆すべき関係者からの評価。

（記載例）

日本で培った〇〇技術や〇〇での経験を活用した、〇〇国での展開のために海外で産学共同研究を行った、〇〇の特徴を有する日本流の人材育成が現地政府から高く評価された 等

3. 質の高いインフラ投資に関する G20 原則の原則 1～5 に沿った「質の高いインフラ」の実現に寄与しているか。(500 字以内)。

(参考) 質の高いインフラ投資に関する G20 原則 (仮訳)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/G20/osaka19/pdf/documents/jp/annex_01.pdf

- 応募活動が、日本企業による海外での「質の高いインフラ」の実現にどのように貢献しているのか (又は貢献する見込みなのか)、具体的に記載して下さい。
- 活動内容のどのような点がどの原則 (原則 1～5) に該当するのか、明確に記載して下さい。少なくとも 2 つの原則について記載をお願いします (各原則は評価項目に該当しますので、該当する原則は全て記載することを推奨します)。

補足説明：各原則について例えば以下の観点を参考に具体的に記載してください。

- ・原則 1) 現地人材の雇用や技術者育成、技術・ノウハウの移転、その他地域社会や経済に長期的な好循環及び持続可能な開発や連結性の促進をもたらすもの。
- ・原則 2) ライフサイクル全体でのコストベネフィットやリスク軽減を考慮した計画など、経済性向上に寄与する取り組み。
- ・原則 3) 事業・活動による効果、環境貢献に向けた提案、計画段階から運営までの環境配慮への貢献など、環境面の取り組み。
- ・原則 4) 耐震・耐風設計や施工中の災害対策、計画段階からの工夫など、災害リスク管理に寄与する取り組み。
- ・原則 5) 広範囲の人々へのサービス提供や開かれた施設、工事中の安全管理、宗教・地域コミュニティへの配慮、雇用機会の創出、女性や人権・多様性への配慮、安全面・健康面の現地での啓蒙活動など、社会的配慮に関する取り組み。
- ・その他、特筆すべき取り組みや工夫。

4. その他PRしたい事項があれば、120字以内でご記入下さい。

5. 応募のきっかけについてご記入下さい。

V 事故等調査

応募プロジェクトの工事中における死亡事故等の発生の有無、その他重大な事故等の発生の有無及び建設業法に基づく営業の停止及び許可の取消し又は「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（令和2年12月25日 国会公契第22号）」に基づく指名停止措置を受け、その期間が令和7年4月1日から令和8年3月31日までにかかる場合、下記【 】に○印をつけてご回答下さい。

※ 日本人スタッフ、現地スタッフ、自社社員、協力会社社員、工事関係者、工事関係者以外の方（公衆災害）、工事敷地内外を問わず、当該プロジェクトに起因した事故は全て対象とします。

1. 死亡事故発生の有無

【 】発生していない。

【 】発生した。

※ 事故及び事故処理の詳細を記入して下さい。（極力詳細にご記載下さい。）

2. その他重大な事故等発生の有無

【 】発生していない。

【 】発生した。

※ 事故及び事故処理の詳細を記入して下さい。（極力詳細にご記載下さい。）

3. 建設業法に基づく営業の停止及び許可の取消し又は「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（令和2年12月25日 国会公契第22号）」に基づく指名停止措置の有無（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

【 】発生していない。

【 】発生した。

※ 事故及び事故処理の詳細を記入して下さい。（極力詳細にご記載下さい。）

VI ヒアリング候補日

応募後、記載内容についてのヒアリングを速やかに行うため、ヒアリング対応が不可な日程に×印をつけてご回答下さい。ヒアリングは1時間程度のオンライン実施を想定します。

※ヒアリングの項目・日程については、候補日を参考に別途調整させていただきます。

※共同応募の場合、必ずしも全ての応募者が出席する必要はありません。

※候補日はあくまで参考とさせていただきます。

	3/2 (月)	3/3 (火)	3/4 (水)	3/5 (木)	3/6 (金)	3/7 (土)	3/8 (日)
AM							
PM							
	3/9 (月)	3/10 (火)	3/11 (水)	3/12 (木)	3/13 (金)	3/14 (土)	3/15 (日)
AM							
PM							
	3/16 (月)	3/17 (火)	3/18 (水)	3/19 (木)	3/20 (金)	3/21 (土)	3/22 (日)
AM							
PM							
	3/23 (月)	3/24 (火)	3/25 (水)	3/26 (木)	3/27 (金)	3/28 (土)	3/29 (日)
AM							
PM							
	30 (月)	31 (火)	4/1 (水)	4/2 (木)	4/3 (金)	4/4 (土)	4/5 (日)
AM							
PM							

添付資料

1. プロジェクトの写真を最大5枚添付して下さい。また、写真についての説明を2～3行で記述して下さい。
2. 上記各項目を説明するために必要な図表や参考資料等がありましたら、客観的かつ簡潔な資料を添付して下さい。